様式第１号（第６条関係）

**記載例**

　　令和8年6月10日

（宛先）入間市長

 入間市クラウドファンディング型ふるさと納税活用支援事業奨励金事業認定申請書

|  |  |
| --- | --- |
| 代表者の住所 | 〒358-8511入間市豊岡一丁目16番1号 |
| (ふりがな)まちづくり組織の名称 |  |
| (ふりがな)代表者の職・氏名 |  | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 事業全般に関する連絡先※申請書その他市から問い合わせした際に対応できる方 | （職・氏名）　　 | TEL | ○○○○〇 |
| FAX | ○○○○〇 |
| E-mail | ○○○○〇 |

　クラウドファンディング型ふるさと納税活用支援事業奨励金の認定を受けたいので、関係

書類を添えて下記のとおり申請します。

記

１　地区名　　　　　　　　　　　　　○○地区

２　事業名　　　　　　　　　　　　　空き家を活用した地域住民交流拠点創出

３　申請回数　　　　　　　　　 　　　　　新 規 ・ 継 続（令和7年度実施）

４　寄附目標額　　　　　　　　　　　1,000,000　円

５　募集の方式　　　　　　　　オール・オア・ナッシング方式　・　オール・イン方式

オール・オア・ナッシング方式・・・寄附募集期間内に寄附目標額に到達した場合に限り、寄附金（奨励金）を交付する方式

オール・イン方式・・・・・・・・・寄附募集期間内に寄附目標額に達しなかった場合であっても、集まった寄附金（奨励金）を交付する方式

|  |
| --- |
| 上記の申請者における事業は、入間市クラウドファンディング型ふるさと納税活用支援事業奨励金交付事業の趣旨に基づき、地域の課題解決や地域の活性化に寄与するものと思われますので、推薦いたします。　※申請者が区・自治会以外の地域団体の場合のみ、記入してください。　年　月　日自治会名　代表者　住所　　　　氏名　 |

６　事業内容

　⑴ 公益・必要性について

|  |
| --- |
| 　① 事業概要（将来像・背景課題・取組内容・効果）　　ａ 目指す将来像地域住民が世代を超えて交流し、誰もが住み続けたくなるようなまちづくりを実現する。空き家を活用した地域コミュニティ拠点の整備を通じて、子どもから高齢者までが安心して集える場所を提供する。　　ｂ 背景課題高齢化の進行とともに地域内の交流の場が減小し、孤立や閉塞感が深まっている。特に子育て世帯や一人暮らしの高齢者の声を聞く機会が減小している。また、空き家が増加し、地域の景観や安全性にも影響を与えている。　　ｃ 本事業での取組内容　　入間市の空き家を地域住民の交流拠点に改修し、月１回の地域食堂や週２回の学習支援活動を行う。改修費用や備品購入費の一部をクラウドファンディング型ふるさと納税で募集する。　　　　　ｄ 地域の課題解決や地域活性化に対する効果　　空き家の有効活用により、防犯面・景観面の改善が期待される。また、地域食堂や学習支援を通じて住民間の交流が生まれ、地域のつながりの再構築につながる。高齢者の見守りや子育て支援にも波及効果が見込まれる。　　　　　　　　ｅ （継続事業のみ）過去のクラウドファンディング型ふるさと納税活用事業の成果、課題についての分析　　前回のプロジェクトでは、目標額を上回るご寄附をいただき、予定通り地域食堂を開催することができた。一方、広報が一部地域にしか届かず、参加者が想定より少なかった。今回は地域回覧板とＳＮＳを組み合わせた広報強化を図る。　　ｆ （オール・イン方式のみ）寄附目標額に達しなかった場合の取組内容　　目標額に満たなかった場合は、改修範囲を縮小し、必要最低限の設備のみを整える形で事業を実施する。外部助成金やボランティア協力も併用し、事業の趣旨を損なわない範囲での規模調整を検討する。　② 事業における市との連携の有無　　地域食堂および学習支援を通じた子どもと家庭への支援を目的とするため、こども支援部の所管課と対象家庭への案内・紹介について連携する予定。 |

⑵ 持続性・発展・先導性について

|  |
| --- |
| 　① 事業の継続実施（施設の維持管理等を含む。）に向けた体制等　　本プロジェクト終了後も、○○保存会を中心とした地域団体が継続して事業を実施する。施設の利用や備品管理は、保存会が責任を持って行い、毎年の地域イベントや学校との連携プログラムを通じて継続的な活動と広報を行う。また、活動資金については自治会費・地元企業からの協賛・地域イベントでの募金などを組み合わせ、持続可能な運営体制を構築していく予定である。　② 事業で活用する先進的な発想や手法　　※継続事業については、⑴①ｅに記載した成果、課題を踏まえた新たな取組等についても記載　　本プロジェクトでは、地域住民や学生ボランティア、退職教員等の多世代協働を促進し、人的資源を活かした体制づくりを行う。また、参加者の管理や食材の提供状況を可視化するために、無料のクラウドツール（GoogleフォームやLINEオープンチャットなど）を活用し、効率的な運営を図る。さらに、定期的なアンケートで利用者の声を把握し、サービス改善に活かすなど、柔軟な運営手法を取り入れる。　　③ 他の住民（団体）や地域へ期待できる波及効果　　他の地区で同様の事業を展開する際の実践的なモデルとなることが期待される。運営方法や地域との連携の在り方など、蓄積されたノウハウを他地区へ共有することで、市内全体への横展開が可能となり、持続的な地域づくりの足がかりとなる。 |

⑶ 地域性について

|  |
| --- |
| 　① 事業に対する地域住民の状況　　本プロジェクトの趣旨は、地域の説明会や回覧等を通じて広く住民に共有しており、多くの住民から賛同の声が寄せられている。実施にあたっては、自治会やボランティア団体の協力も得ており、運営の参加希望者も複数名挙がっている。　② 活用する地域資源（地域ならではの創意工夫した内容等も含む。）　　本プロジェクトでは、地元農家や商店の協力を得て提供される食材など、地域ならではの資源を活用している。　③ 地域内の関係団体（機関）等との連携状況　　本プロジェクトの実施にあたっては、地元自治会、民生委員、ボランティア団体、小中学校、地域の飲食店などと連携している。学習支援については、地域の元教員や大学生ボランティアとの協働により運営体制を構築し、子どもたちの学習の場を支えている。地域食堂では、地元商店や農家の協力のもと食材を確保し、調理・提供についても地域住民が主体的に関わる仕組みを整えている。　④ 地元業者への優先発注　 ａ 事業に必要な物品及びサービス等を提供する事業者の有無【選択】　　　　① 地区内に有　　　② 地区内に無（市内に有）　　③ 地区及び市内に無　 ｂ 地区内及び市内事業者への発注予定　　 ・食材の仕入れ（○○農家） ・印刷物の作成（○○印刷） |

⑷ その他（特記事項）

|  |
| --- |
|  |

７　添付書類

⑴ 入間市クラウドファンディング型ふるさと納税活用支援事業奨励金事業収支予算書（様式第２号）

⑵ まちづくり組織の会則又は規約

⑶ まちづくり組織の組織図及び組織名簿

⑷ 市長が必要と認める書類（事業に関する補足資料等）